

平成22年度
年 報

■ 目 次 ■

| | |
|-----------------------|-------|
| ◆ 目的及び事業 | 2～3 |
| ◆ 平成 22 年度事業概要 | |
| I 文学資料の収集・整理・保存及び閲覧事業 | 4 |
| II 展覧会事業 (1) 展覧会開催事業 | 4 |
| (2) 常設展の展示構成 | 5 |
| III 教育普及事業 | 6～7 |
| IV 北海道文学に関する調査研究事業 | 7 |
| V 文学愛好団体等の活動に対する支援事業 | 8 |
| VI 啓発広報事業 | 8 |
| VII 刊行物の刊行事業 | 8 |
| VIII その他の付帯事業 | 8 |
| ◆ 統計・資料 | |
| I 平成 22 年度 展覧会別観覧状況 | 9 |
| II 平成 22 年度 事業別利用状況 | 9 |
| III 平成 22 年度 資料収集状況 | 10 |
| ◆ 組織及び職員 | |
| I 組織機構図 | 11 |
| II 職 員 | 11 |
| ◆ その他 | |
| I 文学館の歩み | 12～13 |
| II 諸会議・運営日誌 | 14～16 |
| III 財団法人北海道文学館役員等名簿 | 表 3 |

■ 目的及び事業 ■

●北海道立博物館条例（抄）

（設置）

第1条 北海道における教育、学術及び文化の振興を図るため、北海道立博物館（以下「博物館」という。）を設置する。

（名称及び位置）

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

| 名 称 | 位 置 |
|-------------|-----|
| 北海道立北方民族博物館 | 網走市 |
| 北海道立文学館 | 札幌市 |
| 北海道立釧路芸術館 | 釧路市 |

（事業）

第3条 博物館は、次の事業を行う。

- (1) 資料を収集し、保管し、展示し、及び閲覧に供すること。
- (2) 展覧会、講演会等の催しを開催し、及び他のものが行うこれらの催しに協力すること。
- (3) 資料の利用に関し、必要な説明、助言等を行うこと。
- (4) 博物館（北海道立北方民族博物館（第6条において「北方民族博物館」という。）を除く。）の施設及び設備（以下「施設等」という。）を文学、美術等芸術に関する催しの利用に供すること。
- (5) 資料に関する専門的又は技術的な調査研究を行うこと。
- (6) 資料の保管、展示等に関する技術的な研究を行うこと。
- (7) 解説書、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- (8) 他の博物館等と連携し、及び協力すること。
- (9) 地域の教育文化施設が行う北方文化、文学、美術等芸術に関する活動を援助すること。
- (10) その他設置の目的を達成するために必要な事業

（指定管理者による管理）

第4条 博物館の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定による指定を受けた法人その他の団体（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

（指定管理者が行う業務の範囲）

第5条 指定管理者が行う業務は、次のとおりとする。

- (1) 第3条各号（第5号及び第6号を除く。）に掲げる事業に関すること。
- (2) 第8条第1項、第13条及び第16条第2項の承認に関すること。
- (3) 施設等の維持管理に関すること。
- (4) その他教育委員会が定める業務。

（開館時間）

第6条 博物館の開館時間は、午前9時30分から午後5時まで（北方民族博物館にあつては、午前9時30分から午後4時30分まで）とする。ただし、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、臨時に開館時間を変更することができる。

（休館日）

第7条 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、博物館の管理運営上必要があるときその他特に必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、休館日に開館し、又は臨時に休館することができる。

(1) 月曜日（当該日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、休日に該当しない当該日の直後の日）

(2) 12月29日から翌年の1月3日まで

（利用料金）

第12条 利用者は、その利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を指定管理者に納めなければならない。

2 前項の規定により指定管理者に納められた利用料金は、指定管理者の収入とする。

3 利用料金の額は、別表に定める額の範囲内において、指定管理者が知事の承認を受けて定める。これを変更しようとするときも、同様とする。

別表（第12条関係）

1 博物館に展示する資料を観覧する場合

(2) 北海道立文学館及び北海道立釧路芸術館の常設展示の場合

| 区分 | 利用料金の上限額 | |
|---|----------|----------------|
| | 個人 | 10人以上の団体 |
| 1 高等学校の生徒、大学の学生及びこれらに準ずる者 | 330円 | 1人に 220円 つき |
| 2 1以外の者(学齢に達しない者、小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者を除く。) | 670円 | 1人に 550円 つき |

2 北海道立文学館の特別展示室又は講堂を利用する場合

| 区分 | 利用料金の上限額 | | |
|-------|----------|--------|---------|
| | 午前 | 午後 | 1日 |
| 特別展示室 | | | 57,450円 |
| 講堂 | 7,090円 | 8,860円 | 14,730円 |

(4) 北海道立文学館及び北海道立釧路芸術館の特別展示の場合

| 区分 | 利用料金の上限額 | |
|---------------------------|----------|------------------|
| | 個人 | 10人以上の団体 |
| 1 小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者 | 990円 | 1人に 850円 つき |
| 2 高等学校の生徒、大学の学生及びこれらに準ずる者 | 1,620円 | 1人に 1,200円 つき |
| 3 1及び2以外の者(学齢に達しない者を除く。) | 2,640円 | 1人に 2,050円 つき |

■ 平成 22 年度事業概要 ■

I 文学資料の収集・整理・保存及び閲覧事業

| | |
|-------------------------|--------------------------|
| 購入資料受入れ総数（図書・雑誌及び特別資料等） | 1,151 点 |
| 寄贈資料受入れ総数（同上） | 2,614 点 |
| | 3,765 点 |
| 整理・保存 | 収蔵資料のコンピュータ入力並びに寄贈目録の作成等 |
| 閲覧 | 利用者 延 5,207 人 |

II 展覧会事業

(1) 展覧会開催事業

| 区分 | 事業名 | 実施時期 (日数) | 観客数 (人) | 展覧会の概要 |
|----|---------------------------------------|-------------------------------------|------------|--|
| | 常設展 北海道の文学 | 通年 (308 日間) | 8,997 | 北海道の文学を時系列に従いつつジャンル別に構成し、解説している。ビジュアルな展示スタイルに主眼を置き、直筆原稿・遺品・初版本・書簡・写真などの貴重な資料 1,350 点を公開している。(◎展示構成を次頁に掲載。) |
| | 特別展 蘭 繁之の手仕事 “美”にこだわった 津軽の奇才 | 5/29(土) ～ 7/11(日) (38 日間) | 1,840 | 平成 20 年 3 月に逝去した蘭繁之のコレクション展。生前世に送り出した豆本・特装本の他、収集した稀観本、版画等の美術品が当館に寄贈されたのを機に、広く道民に公開した。 |
| | 特別展 北斎漫画展 伝承版本が伝える 江戸の出版文化 | 7/24(土) ～ 9/5(日) (38 日間) | 4,400 | 生誕 250 年の天才浮世絵師・葛飾北斎の代表作「北斎漫画」。近年、新発見された伝承版本と、その版本から再摺された当初のままの図版を展示し、「北斎漫画」の魅力と江戸出版文化の様相を紹介した。 |
| | ファミリー文学館 開いてびっくり! しかけ絵本展 | 9/18(土) ～ 11/7(日) (45 日間) | 5,190 | 子どもも大人も魅了させられる“しかけ絵本”。読む人を物語の世界へと誘い、好奇心をくすぐるしかけ絵本の魅力を、絵本の展示とワークショップをとおして紹介した。 |
| | 特別展 吉村昭と北海道 歴史を旅する 作家のまなざし | 11/27(土) ～ 2/6(日) (57 日間) | 3,350 | 記録小説、歴史小説の第一人者として創作活動を続けた吉村昭の「海の枢」、「罌嵐」、「赤い人」、「破獄」など、北海道を舞台にした作品を中心に紹介した。 |
| 貸館 | 小林 豊絵本原画展 | 5/15(土) ～ 5/23(日) (8 日間) | 319 | 国を超えて多くの読者を魅了している絵本作家・小林豊の三部作「ぼくは弟とあるいた」「ぼくのいえから海がみえた」「ぼくと弟はあるきつづける」の絵本原画を一堂に展示。 |
| 貸館 | 脚本・台本の半世紀 ～今、札幌に 蘇るシナリオ達～ | 11/13(土) ～ 11/21(日) (8 日間) | 422 | 日本脚本アーカイブス所蔵の 3 万 5 千冊の脚本や台本の中から、戦前のラジオ台本、テレビ草創期のドラマ脚本などの貴重な資料を展示。 |

【常設展プレミアム】

「日本人の遺書」

4 月 10 日(土)～5 月 9 日(日) 26 日間 観覧者数 604 人

「遺書」の言葉には、その時代と、人物のひととなり凝縮されている。当館所蔵の有島武郎・波多野秋子書簡を中心に、合田一道収集資料を加え、幕末期以降の文学者ほか歴史に名を残した人々の末期の姿を紹介した。

「《川柳王国》北海道の軌跡」

2 月 19 日(土)～3 月 27 日(日) 32 日間 観覧者数 484 人

平成 21 年度に受贈した塩見一釜コレクションにもとづき、戦後北海道川柳史の軌跡をたどり、北の暮らしの中に生まれた句が詠み込まれた色紙や短冊、直筆句集、各柳社の寄せ書きなど 800 点あまりの資料を一堂で紹介した。

【文学館アーカイブ（新着資料）コーナー】

- ・第1期展示〔4月1日(木)～6月30日(水)〕

児童雑誌と梁川剛一の挿画絵本

当館所蔵の貴重な児童雑誌と近年購入した画家・梁川剛一の挿画絵本に加えて、平成21年12月に完成した「函館児童雑誌コレクション及び北海道児童雑誌データベース」を紹介した。

- ・第2期展示〔7月1日(木)～9月30日(木)〕

昭和20年代の雑誌に見る 戦中・終戦・戦後

終戦から戦後へとめまぐるしい変化に見舞われた昭和20年に発行された稀少雑誌を平澤秀和氏のコレクションから紹介するとともに、戦後北海道出版ブームを背景に出版された「札幌版」の書物を当館所蔵資料から紹介した。

- ・第3期展示〔10月1日(金)～12月28日(火)〕

没後1年 原田康子の自宅書庫から

没後1年を期に、当館に寄贈された原田康子の資料の中から、「挽歌」出版記念の寄せ書き色紙や映画「挽歌」の場面設定ノートなど、特に貴重な資料を紹介した。

- ・第4期展示〔1月12日(水)～3月31日(木)〕

安保闘争と短歌 清原日出夫と岸上大作

日米安保条約改定への大規模な反対運動、「60年安保闘争」から50年経った。この安保闘争を題材にした「安保闘争詠」の代表的な詠み手である清原日出夫と岸上大作。「西の清原、東の岸上」と称された二人の学生歌人の作品を当館所蔵資料とともに紹介した。

(2) 常設展の展示構成

〈北海道の文学、その歴史〉〔神谷忠孝・平原一良〕

◆20世紀への胎動 久保栄「五稜郭血書全5幕」自筆原稿、北方謙三「林蔵の貌」自筆原稿、高倉新一郎『札幌農学校』 ◆助走期の苦闘 有島武郎・木田金次郎宛書簡、武者小路実篤「武郎さんと僕」自筆原稿、雑誌「白樺」 ◆漂泊と彷徨 国木田独歩「欺かざるの記」複製原稿、幸田露伴「二日物語 此一日」複製原稿、石川啄木「雲は天才である」複製原稿 ◆道産子作家の誕生 武林無想庵「アルバム」自筆原稿、森田たま「きもの博士」自筆原稿、中戸川吉二・久米艶子宛書簡 ◆逆流のさなかで 小林多喜二「故里の顔」複製原稿、久保栄「火山灰地」自筆原稿、本庄陸男「逆流」自筆原稿 ◆モダニズムの台頭 伊藤整「文学的青春伝」自筆原稿、中村武羅夫自筆色紙、岡田三郎「かぼちゃ談義」自筆原稿 ◆戦火の中で 辻村もと子「馬追原野」自筆原稿、石塚喜久三「花の海」自筆原稿、坂本直行自筆カット原画 ◆復興と再生 畔柳二美「こぶしの花の咲くころ」自筆原稿、風巻景次郎「札幌地理学」複製原稿、船山馨遺品 ◆成長期の精華 雑誌「北海文学」(原田康子「挽歌」掲載)、和田芳恵「五十年ぶりの帰郷」自筆原稿、李恢成自筆色紙、三浦綾子短冊(三浦光世筆) ◆変転する現代 高橋揆一郎「『仲予』覚え書き」自筆原稿、吉村昭「赤い人」自筆原稿、渡辺淳一「リラ冷えの街」自筆原稿

〈北海道の詩〉〔原子修〕

◆「現代の詩」の創造に挑んだ〈風の詩人〉たち 吉田一穂「魚歌」自筆扁額、小熊秀雄画「裸婦」 ◆「現代の詩」を北の大地に根づかせた〈土の詩人〉たち 更科源蔵「河童十二ヶ月」複製原稿、和田徹三「命」自筆原稿、河邨文一郎「オホーツク」自筆原稿 ◆「現代の詩」の新しい可能性を求めて 原子修自筆色紙

〈北海道の短歌〉〔山名康郎〕

◆北海道歌壇の動き 山下秀之助、酒井廣治、小田観螢、中城ふみ子ほか ◆来道歌人 斎藤茂吉、与謝野寛、与謝野晶子、斎藤史、宮柊二ほか ◆口語短歌 鳴海要吉、石川啄木ほか ◆アイヌの歌人 バチラー八重子、遼星北斗、森竹竹市ほか

〈北海道の俳句〉〔木村敏男〕

◆北方俳句の夜明け 松窓乙二、河東碧梧桐、牛島勝六、高浜虚子、長谷川零餘子、臼田亜浪、石田雨園子、青木郭公ほか ◆俳句近代化への潮流 荻原井泉水、泉天郎、長谷部虎杖子、唐笠何蝶、細谷源二、土岐鍊太郎、伊藤凍魚、水野波陣洞ほか ◆花ひらく北の俳句 斎藤玄、寺田京子、比良暮雪ほか ◆俳句の現代 佐々木丁冬、鮫島交魚子、園田夢蒼花、山岸巨狼ほか

〈アイヌの口承文芸〉〔青柳文吉〕

金田一京助、知里真志保、久保寺逸彦、金成マツ、知里幸恵、萱野茂

〈北海道の川柳〉〔斎藤大雄〕

◆明治～昭和前期 鈴木青柳、北村白眼子、亀井花童子、神尾三休、三輪破魔杖、井上剣花坊、鶴彬、西嶋〇丸、田中五呂八ほか ◆昭和後期～平成7年 西村欣童、高木夢二郎、森田一二、甲野狂水、古田八白子 ◆北海道の川柳社 道央、道南、道東、道北の各結社の活動と結社誌等を紹介。

〈北海道の児童文学〉〔柴村紀代〕

◆明治～昭和20年代 伊東音次郎、支部沈黙、坪松一郎ほか ◆昭和30年代 石森延男、神沢利子、安藤美紀夫、渡辺ひろし、玉川雄介ほか ◆昭和40年代以降 加藤多一、後藤竜二、長野京子ほか

〈千島・樺太の文学〉〔木原直彦〕

夏堀正元、吉村昭、李恢成、寒川光太郎ほか

III 教育普及事業

注：「事業項目」の無印は道負担金事業、※は財団企画事業。

| 事業項目 | 事業名 | 実施時期(日数) | 観覧(参加)者 実績数(人) | 備考 |
|------|------------------|---|-----------------------------------|------------------------------------|
| | 巡回展 | 「藤倉英幸と旅のイメージ」 道内3会場で実施 | 4/16～6/9、6/18～ 7/19、9/11～10/11 | 4,696 |
| | 講演会・ セミナー・講話等 | 文芸セミナー 「遺書が映し出す時代の風」 (講師：合田一道) | 4/18(日) | 47 常設展プレミアム 「日本人の遺書」 関連事業 |
| | 〃 | 絵画教室「小林豊さんといっしょに、 絵を描こう！」(講師：小林 豊) | 5/15(土) | 40 「小林豊絵本原画 展」関連事業 |
| | 〃 | ギャラリートーク 「ぼくと弟のものがたり」 (講師：小林 豊) | 5/15(土) | 32 〃 |
| | 〃 | 「大人とこどものためのミニコン サート」 (演奏：ギター・佐藤洋一、バイオリ ン・山家牧人) | 5/15(土) | 25 〃 |
| | 〃 | 「ブックトーク with 手遊びと童歌」 (出演：子どもの本プロジェクトメ ンバー) | 5/16(日) | 21 〃 |
| | 〃 | ギャラリートーク(講師：小林 豊) | 5/16(日) | 21 〃 |
| | 〃 | 小林豊と池田春子のお話会 (講師：小林豊、池田春子) | 5/16(日) | 32 〃 |
| | 〃 | 絵本のリレー読み聞かせ(出演：子 どもの本プロジェクトメンバー) | 5/16(日) | 30 〃 |
| | 〃 | 講演会「蘭繁之との30年／蘭繁之の 手仕事を語る」 (講師：川村慶子、櫻井健治) | 5/29(土) | 39 「蘭繁之展」 関連事業 |
| | 〃 | 展示室講話「蘭繁之の“美”への関 心」(講師：当館副館長) | 6/12(土) | 8 〃 |
| | 〃 | 展示資料熟覧会「手にして眺める特 装本あれこれ」(講師：当館司書) | 6/19(土) | 20 〃 |
| | 〃 | 展示室講話「蘭繁之の“美”への関 心」(講師：当館副館長) | 7/3(土) | 14 〃 |
| | 〃 | 展示資料熟覧会「手にして眺める特 装本あれこれ」(講師：当館司書) | 7/10(土) | 38 〃 |
| | 〃 | 展示室講話「浮世絵と江戸の出版文 化」(講師：当館学芸主幹) | 7/31(土) | 35 「北斎漫画展」 関連事業 |
| | 〃 | 展示室講話「浮世絵と江戸の出版文 化」(講師：当館学芸主幹) | 8/14(土) | 35 〃 |
| | 〃 | 展示室講話「浮世絵と江戸の出版文 化」(講師：当館学芸主幹) | 8/28(土) | 49 〃 |
| | 〃 | 文芸講演会「北斎漫画と伝承版木が 語るもの」(講師：福島清剛) | 8/7(土) | 90 〃 |
| | 〃 | 文芸トーク「吉村昭のおもかげ」 (講師：津村節子) | 11/27(土) | 115 「吉村昭展」 関連事業 |
| | 〃 | 文芸講演会「吉村昭との交流」 (講師：川西政明) | 12/18(土) | 82 〃 |
| | 〃 | 吉村昭原作映画上映会「密会」 | 12/19(日) | 74 〃 |
| | 〃 | 吉村昭読書会「死顔」 (講師：当館副館長) | 12/5(日) | 16 〃 |
| | 〃 | 吉村昭読書会「海も暮れきる」 (講師：五十嵐秀彦) | 12/12(日) | 21 〃 |
| | 〃 | 吉村昭読書会「赤い人」 (講師：当館学芸員) | 12/26(日) | 20 〃 |
| | 〃 | 吉村昭読書会「戦艦武蔵」 (講師：当館学芸主幹) | 1/29(土) | 11 〃 |
| | 〃 | 吉村昭原作映画上映会「魚影の群れ」 | 1/16(日) | 64 〃 |
| | 〃 | 文芸セミナー「《川柳王国》北海道の 軌跡」(講師：塩見一釜) | 2/27(日) | 90 「川柳王国展」 関連事業 |
| ※ | 〃 | 連携公開講座「奈良とアイヌをつな ぐ文化セミナー」(講師：森 郁夫) | 9/19(日) | 35 |

教育普及事業

| 事業項目 | | 事業名 | 実施時期(日数) | 観覧(参加)者 実績数(人) | 備考 | |
|-------------|-----------|----------------------|---|-----------------------------|-------|------------------|
| 教育普及事業 | ※ | 連続朗読会 | 「吉村昭の北海道～朗読で味わう作品の世界」 (朗読：田村英一、館野直光、ギター：平佐修、佐藤洋一、廣田幸政) | 11/5(金)、12/3(金)、 1/14(金) | 127 | |
| | ※ | ウィークエンド・カレッジ | 「児童文学創作教室」等6講座 | 5月～3月の金、土 | 310 | |
| | ※ | ロビーコンサート | ジャズ演奏(演奏：BakerStreet) | 11/3(水・祝) | 53 | |
| | | 文学道場 | 「中・高生のための創作講座」 | 7/28(水)～30(金) | 30 | |
| | | 小・中学生短歌コンテスト | 夏休み期間中、小・中学生を対象に作品を募集し、優秀作品を表彰 | 7/6(火)～8/30(月) | 2,540 | |
| | | 〃 | 夏休み小・中学生短歌コンテスト表彰式 | 10/16(土) | 50 | |
| | | ファミリー文学館 | ワークショップ「しかけ絵本をつくらう」(講師：当館学芸員) | 10/2(土)、3(日) | 22 | ファミリー文学館 関連事業 |
| | | 〃 | ギャラリートーク「しかけ絵本を知ろう」(講師：当館学芸員) | 10/17(日)、30(土) | 50 | 〃 |
| | | 〃 | 読み聞かせ「しかけ絵本のおはなし会」(講師：当館職員) | 9/20(月・祝)、 11/3(水・祝) | 47 | 〃 |
| | ※ | わくわくこどもランド | 紙芝居、読み聞かせ、工作教室などに親子で参加 | 16回開催 | 697 | |
| | ※ | 文学館まつり | ギャラリー文学館、文学館演芸場、子ども広場、秋のミニ色紙づくりなど | 9/23(木・祝) | 761 | |
| | | 映画鑑賞会 | 「幕末てなもんや大騒動」 (原作：香川登志緒、1967年作品) | 6/13(日) | 91 | |
| | | 映画鑑賞会 | 「陽のあたる坂道」 (原作：石坂洋次郎、1958年作品) | 8/8(日) | 83 | |
| | | 映画鑑賞会 | 「男はつらいよ 寅次郎かもめ歌」 (原作：山田洋次、1980年作品) | 11/28(日) | 74 | |
| | | 映画鑑賞会 | 「真剣勝負」 (原作：吉川英治、1971年作品) | 2/20(日) | 79 | |
| | | 市町村連携事業 「文学館出前講座」 | 市町村、学校、文化団体等との共催で講演会等を開催した。 | 20地域 | 1,925 | |
| | | 文字・活字文化の 振興事業 | 「中山周三の短歌」(講師：村井宏) | 10/31(日) | 53 | |
| | ※ | 文化団体協働事業 | 平成22年度道民芸術祭 「北を詠い描く展」 | 1/18(火)～30日(日) | 803 | |
| | ※ | 道民カレッジ 連携講座 | 3講座実施 | 6/6(日)、7/4(日)、 8/1(日) | 194 | |
| | ※ | 文化施設連携事業 | 「カルチャーナイト2010」 展示室の夜間開館等を実施 | 7/23(金) | 278 | |
| ※ | 文化公演の活動 | コンサート、朗読会の会場に利用 | 閉館後の夜間 | 741 | | |
| | 文学資料の利用 | 閲覧室での研究、調査、読書等 | 通年(308日間) | 5,207 | | |
| | 文学愛好団体の活動 | 文学愛好団体が講堂利用(貸館) | 通年(308日間) | 1,106 | | |
| ※ | 小学生向け事業 | 「文学館たんけんクイズ」 | 通年(308日間) | 291 | | |
| 教育普及事業参加者 計 | | | | 21,422 | | |

IV 北海道文学に関する調査研究事業

- ① 常設展プレミアム「日本人の遺書」関連資料調査
- ② 特別展「蘭繁之の手仕事」関連資料調査
- ③ 特別展「北斎漫画展」関連資料調査
- ④ ファミリー文学館「開いてびっくり! しかけ絵本展」関連資料調査
- ⑤ 特別展「吉村昭と北海道」関連資料調査
- ⑥ 常設展プレミアム「《川柳王国》北海道の軌跡」関連資料調査
- ⑦ 特別展の図録作成に要する調査
- ⑧ 次年度の常設展プレミアム関連資料調査
- ⑨ 後藤竜二、高田三郎、小泉るみ子の関連資料調査
- ⑩ 福永武彦の関連資料調査
- ⑪ あべ弘士の関連資料調査

- ⑫ 林静一の関連資料調査
- ⑬ 李恢成の関連資料調査

V 文学愛好団体等の活動に対する支援事業

次の団体の事業に対して、後援名義並びに共催名義の使用を承認して支援した。

- ① 財団法人北海道生涯学習協会
「ほっかいどう学」かでの移動講座
(平成22年6月6日、7月4日、8月1日 北海道立文学館地階講堂)
- ② 加藤周一ドキュメンタリー映画上映実行委員会
「加藤周一ドキュメンタリー映画『しかし、それだけではない』上映会」
(平成22年5月9日 共済ホール)
- ③ 中川町教育委員会
斎藤茂吉記念第17回中川町短歌フェスティバル
(平成22年6月1日～10月31日 中川町)
- ④ 「熊谷ユリヤ 出版記念朗読コンサート」実行委員会
「熊谷ユリヤ 出版記念朗読コンサート」
(平成22年6月11日 札幌市時計台ホール)
- ⑤ NPO法人 絵本・児童文学研究センター
絵本・児童文学研究センター 第15回文化セミナー
「今までの絵本、これからの絵本」
(平成22年11月21日 小樽市民センター「マリンホール」)
- ⑥ NPO法人 CCC-TIES
eカレッジ連携公開講座
「奈良とアイヌをつなぐ文化セミナー in 北海道」
(平成22年9月19日 北海道立文学館講堂)
- ⑦ 北海道文化団体協議会
平成22年度道民芸術祭
「北を詠い描く」～文芸・美術作品展～
(平成23年1月18日～30日 北海道立文学館)
- ⑧ 「バイリンガル朗読とハーブ：愛の詩」実行委員会
「バイリンガル朗読とハーブ：愛の詩」
(平成23年2月13日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑨ ギター大好き恵子ママのホームページ
「猪居謙ギターリサイタル」
(平成23年3月12日 北海道立文学館地階ロビー)

VI 啓発広報事業

- ① 事業案内、各展覧会ポスター・ちらし及び講演会・セミナーちらし等を制作・発行し、道内外の文学館、道内の博物館や図書館、札幌市内の地区センター、区民センター、カルチャーセンター、主要ホテル、観光案内所等に配布した。又、JR札幌駅、地下鉄各駅構内にポスターの掲示を行った。更に、展覧会の開催をPRするため、新聞紙上で有料広告を行った。
- ② 「北海道文学館報」第81号(5月31日付)、第82号(8月6日付)、第83号(11月10日付)、第84号(2月18日付)を発行した。

VII 刊行物の刊行事業

- ① 特別展「蘭繁之展」図録の刊行
- ② 特別展「吉村昭展」図録の刊行
- ③ 「平成21年度年報」の刊行

VIII その他の付帯事業

- ① 「北海道文学大事典」(補遺版)の編集作業
標記補遺版(人名編)発行のための編集作業を行った。この作業は平成23年度も継続して行う。
- ② 博物館実習生の受入
博物館実習生—10名(受入期間 7月～1月。実習期間 2週間)

■ 統計・資料 ■

I 平成 22 年度 展覧会別観覧状況

単位：名

| 区分 | 常設展 | | 特別展 | | | | 貸 館 | | 計 |
|-------|--------|-------|-------|----------|-------|----------|-----------|--------|---|
| | 北海道の文学 | 蘭繁之展 | 北斎漫画展 | ファミリー文学館 | 吉村昭展 | 小林豊絵本原画展 | 脚本・台本の半世紀 | | |
| 開催日数 | 308 | 38 | 38 | 45 | 57 | 8 | 8 | | |
| 個人 | 一般 | 2,528 | 548 | 3,314 | | 1,575 | | 7,965 | |
| | 高大生 | 188 | 22 | 215 | | 44 | | 469 | |
| | 小中生 | | | 89 | | | | 89 | |
| | 幼児 | | | | | | | 0 | |
| | 小計 | 2,716 | 570 | 3,618 | 0 | 1,619 | 0 | 8,523 | |
| | 一般 | 83 | 13 | 116 | | | | 212 | |
| | 高大生 | 10 | | | | | | 10 | |
| 団体 | 小中生 | | | | | | | 0 | |
| | 小計 | 93 | 13 | 116 | 0 | 0 | 0 | 222 | |
| 免除・招待 | 6,188 | 1,257 | 666 | 5,190 | 1,731 | 319 | 422 | 15,773 | |
| 観覧者総数 | 8,997 | 1,840 | 4,400 | 5,190 | 3,350 | 319 | 422 | 24,518 | |

II 平成 22 年度 事業別利用状況

単位：名

| 区分 | | 月別 | | | | | | | | | | | | 合計 |
|------------------|----------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 負担金事業 | 常設展 | 353 | 604 | 765 | 754 | 897 | 768 | 740 | 816 | 646 | 740 | 528 | 298 | 7,909 |
| | 常設展プレミアム「日本人の遺書」 | 296 | 308 | | | | | | | | | | | 604 |
| | 常設展プレミアム「川柳王国」 | | | | | | | | | | | 212 | 272 | 484 |
| | 蘭繁之展 | | 92 | 1,008 | 740 | | | | | | | | | 1,840 |
| | 北斎漫画展 | | | | 497 | 3,081 | 822 | | | | | | | 4,400 |
| | ファミリー文学館「しかけ絵本展」 | | | | | | 1,237 | 3,031 | 922 | | | | | 5,190 |
| | 吉村昭展 | | | | | | | | 273 | 1,106 | 1,479 | 492 | | 3,350 |
| | 貸館「小林豊絵本原画展」 | | 319 | | | | | | | | | | | 319 |
| | 貸館「脚本・台本の半世紀」 | | | | | | | | | 422 | | | | 422 |
| | 小計 | 649 | 1,323 | 1,773 | 1,991 | 3,978 | 2,827 | 3,771 | 2,433 | 1,752 | 2,219 | 1,232 | 570 | 24,518 |
| | 講演会・セミナー・講話等 | 47 | 240 | 28 | 87 | 174 | 25 | 53 | 115 | 213 | 11 | 90 | | 1,083 |
| | 地域連携事業「文学館出前講座」 | | | 183 | 243 | 415 | 30 | 536 | 243 | 167 | 108 | | | 1,925 |
| | ファミリー文学館（ワークショップ、短歌コンテスト等） | | | | | | 2,540 | 122 | 32 | | | | | 2,694 |
| 映画鑑賞会 | | | | 91 | 83 | | | | 74 | | 64 | 79 | 391 | |
| 文学道場 | | | | | 30 | | | | | | | | 30 | |
| 巡回展「藤倉英幸と旅のイメージ」 | | | 2,782 | 1,411 | | | | 503 | | | | | 4,696 | |
| 愛好団体の文学活動 | 44 | 152 | 32 | 72 | 42 | 72 | 282 | 153 | 47 | 52 | 42 | 116 | 1,106 | |
| 資料閲覧・共同研究 | 328 | 444 | 482 | 485 | 517 | 438 | 501 | 407 | 350 | 424 | 445 | 386 | 5,207 | |
| 小計 | 419 | 836 | 3,598 | 2,328 | 1,231 | 3,105 | 1,997 | 1,024 | 777 | 659 | 656 | 502 | 17,132 | |
| 負担金事業計 | 1,068 | 2,159 | 5,371 | 4,319 | 5,209 | 5,932 | 5,768 | 3,457 | 2,529 | 2,878 | 1,888 | 1,072 | 41,650 | |
| 財団自主事業 | 講演会・セミナー・講話等 | | | | | | 35 | | | | | | | 35 |
| | 連続朗読会 | | | | | | | | 33 | 41 | 53 | | | 127 |
| | 「北を詠い描く展」（文団協との協働） | | | | | | | | | | 803 | | | 803 |
| | ウィークエンド カレッジ | | 8 | 45 | 44 | 29 | 34 | 34 | 34 | 18 | 18 | 23 | 23 | 310 |
| | 道民カレッジ連携講座 | | | 66 | 60 | 68 | | | | | | | | 194 |
| | わくわくこどもランド | 27 | 28 | 52 | 86 | 90 | 39 | 55 | 113 | 110 | 52 | 45 | | 697 |
| | ロビーコンサート | | | | | | | | 53 | | | | | 53 |
| | カルチャーナイト 2010 | | | | 278 | | | | | | | | | 278 |
| | 文学館たんけんクイズ | 8 | 7 | 11 | 12 | 17 | 9 | 52 | 111 | 8 | 25 | 19 | 12 | 291 |
| | 文学館まつり（9/23） | | | | | | 761 | | | | | | | 761 |
| | 公演（コンサート、朗読会） | | 92 | | 275 | | | 45 | 106 | 70 | | 48 | 105 | 741 |
| | 財団自主事業計 | 35 | 135 | 174 | 755 | 204 | 878 | 186 | 450 | 247 | 951 | 135 | 140 | 4,290 |
| | その他（喫茶コーナー） | 187 | 322 | 270 | 286 | 387 | 270 | 266 | 255 | 205 | 320 | 172 | 160 | 3,100 |
| 合計 | 1,290 | 2,616 | 5,815 | 5,360 | 5,800 | 7,080 | 6,220 | 4,162 | 2,981 | 4,149 | 2,195 | 1,372 | 49,040 | |

Ⅲ 平成 22 年度 資料収集状況

収集状況

単位：点

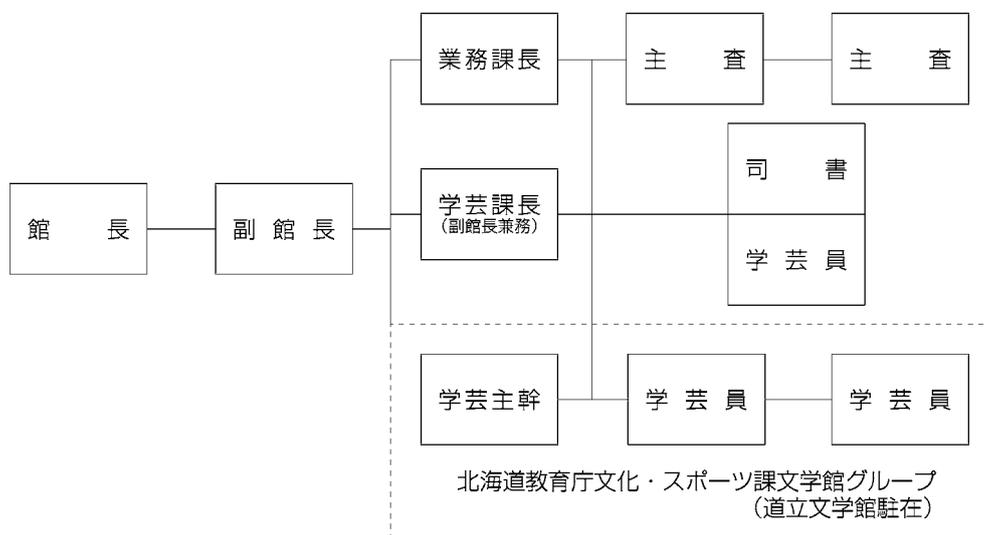
| 区 分 | 購 入 | 受 贈 | 合 計 |
|-----------------|-----|-------|-------|
| 図 書 資 料 | 678 | 587 | 1,265 |
| 雑 誌 資 料 | 469 | 1,952 | 2,421 |
| 視 聴 覚 ・ 電 磁 資 料 | 0 | 4 | 4 |
| 特 別 資 料 | 4 | 71 | 75 |

〈主な収集特別資料一覧〉

| | | |
|-------------------------|-----|----|
| ・平地勲 吉村昭写真プリント | 1点 | 受贈 |
| ・あへ弘士絵画 | 3点 | 受贈 |
| ・藤倉英幸リトグラフ | 2点 | 受贈 |
| ・八木義徳直筆原稿「選評（北海道新聞文化賞）」 | 1点 | 受贈 |
| ・川辺為三直筆原稿「タナ・ロットをはなれて」 | 1点 | 受贈 |
| ・高浜虚子短冊 | 1点 | 受贈 |
| ・CD-ROM「鳩沢佐美夫デジタル文書資料集」 | 1点 | 受贈 |
| ・世戸由紀子宛富盛菊枝書簡 | 10点 | 受贈 |
| ・久保栄宛長光太書簡 | 11点 | 受贈 |
| ・久保栄「小山内薫伝記草稿」 | 5点 | 受贈 |
| ・酒井廣治宛小田観螢書簡 | 1点 | 購入 |
| ・和田義雄宛八木義徳葉書 | 1点 | 購入 |
| ・青山光二宛八木義徳葉書 | 2点 | 購入 |

■ 組織及び職員 ■

I 組織機構図



II 職員

(平成 23 年 3 月 31 日現在)

| 職名 | 氏名 | 職名 | 氏名 |
|---------------|--------|-------------------------------------|--------|
| 館長 (財団副理事長) | 清原 登志夫 | 学芸課 学芸員 | 喜多 香織 |
| 副館長 (財団専務理事) | 平原 一良 | 北海道教育庁文化・スポーツ課 文学館グループ (道立文学館駐在) | |
| 業務課長 (財団常務理事) | 川崎 信雄 | | |
| 業務課 主査 | 奥山 久仁彦 | | |
| 業務課 主査 | 丹伊田 範子 | 学芸主幹 | 新明 英仁 |
| 学芸課 司書 | 三井 沙紀 | 学芸員 | 齊藤 千鶴子 |
| | | 学芸員 | 阿部 かおり |

■ その他 ■

I 文学館の歩み

| 年次 | 事 項 | 年次 | 事 項 |
|------|---|-----|--|
| 昭和42 | 北海道文学館設立総会、館報1号発行、有島武郎文学展 | 61 | 日本の文学館風景展、和田謹吾理事長就任、歌誌「原始林」40周年記念展、「石川啄木と野口雨情」文学風物展、石森延男と札幌の児童文学展、詩誌「核」30周年記念展 |
| 43 | 文学に見る北方風物展 | 62 | 『北海道文学百景』『北海道文学絵はがき』発行、北海道文学館歩み展、北海道文学館20周年記念祝賀会および記念展、俳句誌「氷原帯」創刊40周年記念展 |
| 44 | 北海道旅の文学展 | 63 | 北海道歌人会創立35周年記念展、北海道新聞文学賞展、『北海道文学読本』発行、没後30年久保栄文学展、近代日本の文豪——森鷗外展、財団法人北海道文学館設立 |
| 45 | 伊藤整・亀井勝一郎文学展 | 平成元 | 胆振文学展・目で見える風土と文学、俳句誌「葦牙」創刊700号記念展、北海道女流作家第一号森田たま展、北海道川柳展、作家生活25年記念三浦綾子展（札幌、旭川） |
| 46 | 北海道詩歌展 | 2 | 児童文学「新十津川物語」展（札幌、新十津川）、移動展・石川啄木と野口雨情展、文化情報誌「ニュースきょうどう・カムイミンタラ」展、歌誌「新壑」創刊60周年記念展、北のロマンを奏でる——渡辺淳一文学展、市町村文芸誌展——道東・道北編 |
| 47 | 目で見える札幌文学散歩 | 3 | 市町村文芸誌展——道央・道南編、移動展・石森延男と室蘭の児童文学展、文学展・北海道花の歳時記、来道60周年記念斎藤茂吉展、文芸誌「赤煉瓦」とその周辺展 |
| 48 | 藤村における旅資料展、久保栄文学展、札幌の文学・百年展 | 4 | 設立25周年記念・有島武郎と木田金次郎展、北電文化誌「フロンティア」著名作家原稿展、文学展・北海道花の歳時記（室蘭）、北の文学風物誌展（冬の巻）、らいらっく文学賞展 |
| 49 | 文学にみる札幌風物展、北海道女流文学展、小田観螢・人と作品展 | 5 | 俳句誌「アカシヤ」500号記念展、札幌文学散歩展、没後25年・道立文学館着工記念伊藤整文学展、北海道詩人協会40周年記念展 |
| 50 | 札幌の作家展（戦前の巻）、戦後30年・北海道文学展、札幌の作家展（戦後の巻）、川柳に見る戦後の札幌展 | 6 | 文学・北の歳時記展、文学展・札幌線沿線の旅、北の山と文学展、和田謹吾理事長死去 |
| 51 | 碑にみる北の文学展、林不忘・長谷川四郎兄弟展、石狩川流域文学展、歌人・山下秀之助展 | 7 | 澤田誠一理事長就任 北海道立文学館開館記念特別展・北の夜明け、所蔵品展・私の愛した抒情詩人たち |
| 52 | 札幌の文学サークル展、文学展・北の海、札幌・戦後演劇展 | | |
| 53 | 文学展・ふるさとの窓、北海道児童文学展、さっぽろの俳句展 | | |
| 54 | 札幌市資料館に館看板掲示、現代北海道短歌展、風土のなかの文学碑展、『北海道文学地図』発行 | | |
| 55 | 現代北海道俳句展、北海道岬文学展、児童文学と絵日記展——石森延男・その周辺—— | | |
| 56 | 雑誌「北方文芸」展、石森延男児童文学展、館所蔵文芸雑誌閲覧開始、北海道岬・文学展、高橋留治氏から3000余冊の詩書等寄贈、北海道文学全集展 | | |
| 57 | 島木健作文学展、船山馨文学展、北海道・湖文学展、鮫島交魚子・加藤愛夫文学展 | | |
| 58 | 寺田京子・宮田益子・森みつ三人展、文学展・大地と人間、にんげん坂本直行展——その絵と文学—— | | |
| 59 | 北海道児童文学全集展、北海道演劇資料展 | | |
| 60 | 北海道文学展示室が常設展に移行、北海道俳句展、北原白秋展、文学にみる北方風物展、更科源蔵初代理事長死去、『北海道文学大事典』発行、地域文化功労者賞受賞 | | |

| 年次 | 事項 | 年次 | 事項 |
|----|--|----|---|
| 8 | 特別企画展・北海道の俳句、特別企画展・久保栄と北海道、所蔵品展・船山馨の文学世界 | | 説「挽歌」から50年～、企画展・サハリン追跡～残留朝鮮人の軌跡、ファミリー文学館・春を待つ子どもたち～いわさきちひろ複製画展～ |
| 9 | 特別企画展・森田たまと素木しづ、特別企画展・青春と文学、所蔵品展・書簡に探る作家の素顔 | 18 | 特別企画展・石川啄木～貧苦と挫折を超えて～、特別企画展・池澤夏樹のトポス～旅する作家と世界の出会い～、企画展・人生を奏でる二組のデュオ～有島武郎と木田金次郎・里見淳と中戸川吉二～、企画展・写・文交響～写真家・綿引幸造の世界から～、企画展・〈デルス・ウザーラ〉絵物語展、企画展・書房の余滴～中山周三旧蔵資料から～ |
| 10 | 特別企画展・北海道の短歌、特別企画展・有島武郎とヨーロッパ、企画展・吉田一穂とその時代 | 19 | 特別企画展・太宰治の青春～津島修治であったころ～、特別企画展・目で識る川柳250年展・併設：北海道川柳の流れ、企画展・父・船山馨のDNA～船山滋生の彫刻と挿画～、企画展・遊んで学んだ、あの時代。新発見！100年前の児童雑誌、企画展・探求者の魂～山田昭夫の書齋から～ |
| 11 | 特別企画展・夏目漱石と芥川龍之介、特別企画展・〈本〉はどこに向かうのか、所蔵品展・本庄陸男と『石狩川』 | 20 | 特別企画展・詩の黄金の庭 吉増剛造展、企画展・馬たちがいた 加藤多一と北の風景、企画展・鳥のこぼれ 加藤幸子の見つめる世界、企画展・文学の鬼を志望すー八木義徳 |
| 12 | 特別企画展・挿絵と装幀の小宇宙、特別企画展・「北緯五十度」の詩人たち、企画展・花咲く北の川柳展 | 21 | 常設展プレミアム・特集「フロンティア」—60～70年代の北海道、特別企画展・没後10年…三浦綾子／いのちへの愛、企画展・語り、継ぐ。—アイヌ口承文芸の世界、企画展・サハリンを読む—遙か[樺太]の記憶、企画展・藤倉英幸と旅のイメージ |
| 13 | 特別企画展・夢の世界のおくりもの～アンデルセン童話・絵本原画展～、特別企画展・100年目の小熊秀雄～20世紀詩のアヴァンギャルド～、企画展・映画ポスターに見る北海道の文学 | 22 | 常設展プレミアム・日本人の遺書、常設展プレミアム・《川柳王国》北海道の軌跡、特別展・蘭繁之の手仕事～“美”にこだわった津軽の奇才、特別展・北斎漫画展～伝承版木が伝える江戸の出版文化、ファミリー文学館・開いてびっくり！しかけ絵本展、特別展・吉村昭と北海道～歴史を旅する作家のまなざし |
| 14 | 神谷忠孝理事長就任、特別企画展・寺山修司展～テラヤマ・ワールド—きらめく闇の宇宙～、特別企画展・大自然に抱擁されて～知里幸恵『アイヌ神謡集』の世界へ～、企画展・中沢茂“ひとりの賑やかさ”～根室と霧と芸術家たち～ | | |
| 15 | 特別企画展・生誕100年記念 林芙美子展 特別企画展・函館—青森海峡浪漫～〈北の20世紀〉を紡いだ作家たち～、企画展・詩人百田宗治の戦後～北海道に残したもの～ | | |
| 16 | 特別企画展・写真家掛川源一郎の20世紀 特別企画展・更科源蔵生誕100年 北の原野の物語、企画展・アイヌ語地名を歩く—山田秀三の地名研究から—、企画展・仙花紙からの出発～雑誌に見る「戦後」の姿、企画展・北の風土の批評精神 発生と展開～風巻景次郎から小笠原克へ～ | | |
| 17 | 企画展・現代少年少女詩・童謡詩展、特別企画展・神沢利子の世界～北を想う・北を描く～、特別企画展・原田康子の北海道～小 | | |

II 諸会議・運営日誌

平成22年

- 4月10日(土) 常設展プレミアム「日本人の遺書」オープン(～5月9日)
4月16日(金) 巡回展「藤倉英幸と旅のイメージ」(～6月9日、北海道立帯広美術館)
4月18日(日) 文芸セミナー「遺書が映し出す時代の風」講師：合田一道
4月25日(日) わくわくこどもランド(手作り教室「こいのぼりをつくろう!」)
5月2日(日) 公演「GWギターコンサート前夜祭」
5月5日(水) わくわくこどもランド(こどもの日スペシャル「人形劇と影絵」)
5月15日(土) 貸館「小林豊絵本原画展」オープン(～5月23日)
5月18日(火) 富山県議会厚生環境委員会行政視察
5月21日(金) ウィークエンド・カレッジ(児童文学創作教室、講師：小笠原治嘉)
運営検討委員会(財団)
監事監査(財団)
5月28日(金) 理事会・評議委員会(財団)
5月29日(土) 特別展「蘭繁之の手仕事～美」にこだわった津軽の奇才」オープン(～7月11日)
文芸講演会「蘭繁之との30年／蘭繁之の手仕事を語る」、講師：川村慶子、櫻井健治
公演「國松竜次ギターコンサート2010」
6月5日(土) わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせ、紙芝居他)
ウィークエンド・カレッジ(折口信夫・釈迦空——学問と作品を読む、講師：月岡道晴)
ウィークエンド・カレッジ(イタリア文学講座『マタイ伝を読む』、講師：工藤知子)
6月6日(日) 道民カレッジ・かでの移動講座「宮澤賢治と北海道」、講師：斉藤征義
6月12日(土) 展示室講話「蘭繁之の“美”への関心」、講師：平原一良
ウィークエンド・カレッジ(遺書にみる人間ドラマ～生と死のはざままで～、講師：合田一道)
6月13日(日) 映画鑑賞会「幕末てなもんや大騒動」(原作・香川登志緒、1967年)
6月15日(火) 文学館出前講座(釧路町、講師・斉藤征義)
6月17日(木) 文学館出前講座(北見仁頃高等学校、講師・岸田典大)
全国文学館協議会(日本近代文学館、副館長出席)
6月18日(金) 巡回展「藤倉英幸と旅のイメージ」(～7月19日、木田金次郎美術館)
ウィークエンド・カレッジ(児童文学創作教室、講師：小笠原治嘉)
6月19日(土) 展示資料熟覧会「手にして眺める特装本あれこれ」、講師：当館司書
ウィークエンド・カレッジ(シネマにみる文学の風景、講師：喜多義憲)
6月26日(土) ウィークエンド・カレッジ(モーツァルトの楽しみパートII、講師：瀬戸正昭)
7月3日(土) 展示室講話「蘭繁之の“美”への関心」、講師：平原一良
わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせ、紙芝居他)
ウィークエンド・カレッジ(折口信夫・釈迦空——学問と作品を読む、講師：月岡道晴)
ウィークエンド・カレッジ(イタリア文学講座『マタイ伝を読む』、講師：工藤知子)
公演「“古琴”の調べ——孔子・光源氏の音楽の世界——」
7月4日(日) 道民カレッジ・かでの移動講座「小説を書くということ」、講師：佐野良二
7月7日(水) 文学館出前講座(美幌町、講師・斉藤征義)
7月10日(土) 展示資料熟覧会「手にして眺める特装本あれこれ」、講師：当館司書
ウィークエンド・カレッジ(遺書にみる人間ドラマ～生と死のはざままで～、講師：合田一道)
文学館出前講座(京極町、講師・斉藤征義)
7月16日(金) ウィークエンド・カレッジ(児童文学創作教室、講師：小笠原治嘉)
7月17日(土) ウィークエンド・カレッジ(シネマにみる文学の風景、講師：武島靖子)
公演「河野智美ギターコンサート」
7月23日(金) 文学館出前講座(美幌市、講師：館野直光)
カルチャーナイト2010(常設展の開館時間延長、「たそがれ俳句吟行会」、「いい爺いライダー」上映会、古書バザールほか)
7月24日(土) 特別展「北斎漫画展～伝承版本が伝える江戸の出版文化」オープン(～9月5日)
ウィークエンド・カレッジ(モーツァルトの楽しみパートII、講師：瀬戸正昭)
7月25日(日) 文学館出前講座(厚岸町、講師：クレヨンカンパニー)
公演「松木幸夫ギター教室発表会」
7月28日(水) 夏休み文学道場「中高生のための創作講座」、講師：小路幸也
7月29日(木) 夏休み文学道場「中高生のための創作講座」、講師：小路幸也
7月30日(金) 夏休み文学道場「中高生のための創作講座」、講師：小路幸也

- 7月31日(土) 展示室講話「浮世絵と江戸の出版文化」、講師：当館学芸主幹
わくわくこどもランド(手作り教室「うちわをつくろう!」)
わくわくこどもランド(手作り教室「サマーブックをつくろう!」)
公演「星降る夜 篠笛演奏会～七夕さまに誘われて」
- 8月1日(日) 道民カレッジ・かでの移動講座「札幌の有島武郎」、講師：前川公美夫
- 8月4日(水) わくわくこどもランド(手作り教室「紙芝居をつくろう!」)
- 8月5日(木) わくわくこどもランド(手作り教室「紙芝居をつくろう!」)
- 8月7日(土) 文芸講演会「『北斎漫画』と伝承版木が語るもの」、講師：福島清剛
わくわくこどもランド(お話とアフリカンドラム演奏)
- 8月8日(日) 映画鑑賞会「陽のあたる坂道」(原作・石坂洋次郎、1958年)
- 8月14日(土) 展示室講話「浮世絵と江戸の出版文化」、講師：当館学芸主幹
- 8月19日(木) 文学館出前講座(江別市、講師：斉藤征義)
- 8月20日(金) ウィークエンド・カレッジ(児童文学創作教室、講師：小笠原治嘉)
- 8月21日(土) ウィークエンド・カレッジ(遺書にみる人間ドラマ～生と死のはざままで～、講師：合田一道)
- 8月22日(日) 文学館出前講座(千歳市、講師：加藤多一)
- 8月25日(水) 文学館出前講座(札幌市、講師：平原一良、森一生)
- 8月28日(土) 展示室講話「浮世絵と江戸の出版文化」、講師：当館学芸主幹
ウィークエンド・カレッジ(シネマにみる文学の風景、講師：高村賢治)
- 9月4日(土) わくわくこどもランド(絵本読み聞かせ、紙芝居他)
- 9月11日(土) ウィークエンド・カレッジ(イタリア文学講座『マタイ伝を読む』、講師：工藤知子)
ウィークエンド・カレッジ(折口信夫・釈道空—学問と作品を読む、講師：月岡道晴)
巡回展「藤倉英幸と旅のイメージ」(～10月11日、網走市立美術館)
- 9月12日(日) 文学館出前講座(芽室町、講師：加藤多一)
- 9月17日(金) ウィークエンド・カレッジ(児童文学創作教室、講師：小笠原治嘉)
- 9月18日(土) ファミリー文学館「開いてびっくり!しかけ絵本展」オープン(～11月7日)
ウィークエンド・カレッジ(シネマにみる文学の風景、講師：佐々木純)
- 9月19日(日) みんなのTHESeカレッジ連携公開講座(講師：森郁夫、本田優子)
- 9月20日(月) 読み聞かせ「しかけ絵本のおはなし会」、講師：当館職員
- 9月23日(木) 文学館まつりの開催(ギャラリー文学館、「文学館演芸場」、一日限りの資料公開)
- 9月25日(土) ウィークエンド・カレッジ(モーツァルトの楽しみパートII、講師：瀬戸正昭)
- 9月29日(水) 臨時理事会(財団)
- 10月2日(土) わくわくこどもランド(絵本読み聞かせ、紙芝居他)
ワークショップ「しかけ絵本をつくろう」、講師：当館学芸員
ウィークエンド・カレッジ(折口信夫・釈道空—学問と作品を読む、講師：月岡道晴)
ウィークエンド・カレッジ(イタリア文学講座『マタイ伝を読む』、講師：工藤知子)
朗読会「おはなし交響曲」、朗読：あべ弘士、チェンバロ演奏：明楽みゆき
- 10月3日(日) 文学館出前講座(利尻町、講師：岸田典大)
ワークショップ「しかけ絵本をつくろう」、講師：当館学芸員
- 10月15日(金) 文学館出前講座(稚内市、講師：岸田典大)
- 10月16日(土) ウィークエンド・カレッジ(児童文学創作教室、講師：小笠原治嘉)
夏休み小中学生短歌コンテスト表彰式
ウィークエンド・カレッジ(シネマにみる文学の風景、講師：加藤敦)
- 10月17日(日) 文学館出前講座(蘭越町、講師：いいだともき)
- 10月19日(火) ギャラリートーク「しかけ絵本を知ろう」、講師：当館学芸員
- 10月20日(水) 文学館出前講座(岩見沢高等養護学校、講師：熊谷ユリヤ)
- 10月23日(土) 評議員選定委員会(財団)
ウィークエンド・カレッジ(モーツァルトの楽しみパートII、講師：瀬戸正昭)
- 10月29日(金) 文学館出前講座(当別町、講師：木原直彦)
企画検討委員会(財団)
事典編集会議(財団)
- 10月30日(土) ギャラリートーク「しかけ絵本を知ろう」、講師：当館学芸員
文学館出前講座(釧路市、講師：桜木紫乃)
- 10月31日(日) 講演会「中山周三の短歌」、講師：村井宏
- 11月1日(月) 芸術週間(～11月7日、常設展料金無料)
- 11月2日(火) 北海道文化賞贈呈式
- 11月3日(水) 読み聞かせ「しかけ絵本のおはなし会」、講師：当館職員
ロビーコンサート「ジャズ演奏」(出演：BakerStreet)
- 11月5日(金) 連続朗読会「吉村昭の北海道」、朗読：田村英一、ギター：平佐修

- 11月6日(土) わくわくこどもランド(秋のスペシャル「人形劇」)
ウィークエンド・カレッジ(折口信夫・釈迦空 ― 学問と作品を読む、講師:月岡道晴)
ウィークエンド・カレッジ(イタリア文学講座『マタイ伝を読む』、講師:工藤知子)
公演「チェンバロコンサート」
- 11月7日(日) 文学館出前講座(興部町、講師:加藤多一)
- 11月13日(土) 貸館「脚本・台本の半世紀」オープン(～11月21日)
ウィークエンド・カレッジ(モーツァルトの楽しみパートII、講師:瀬戸正昭)
- 11月19日(金) ウィークエンド・カレッジ(児童文学創作教室、講師:升井純子)
全国文学館協議会総務情報部会(業務課長出席)
- 11月20日(土) ウィークエンドカレッジ(シネマにみる文学の風景、講師:和田由美)
- 11月21日(日) 公演「佐藤泰志『海炭市叙景』朗読会」
- 11月25日(木) 文学館出前講座(南富良野町、講師:斉藤征義)
- 11月27日(土) 特別展「吉村昭と北海道～歴史を旅する作家のまなざし」オープン(～2月6日)
同展オープニングセレモニー
文芸トーク「吉村昭のおもかげ」、講師:津村節子
文学館出前講座(函館市、講師:加藤多一)
- 11月28日(日) 映画鑑賞会「男はつらいよ 寅次郎かもめ歌」(原作・山田洋次、1980年)
- 12月3日(金) 連続朗読会「吉村昭の北海道」、朗読:館野直光、ギター:佐藤洋一
- 12月4日(土) ウィークエンド・カレッジ(折口信夫・釈迦空 ― 学問と作品を読む、講師:月岡道晴)
ウィークエンド・カレッジ(イタリア文学講座『マタイ伝を読む』、講師:工藤知子)
公演「亀井貴幸ギターコンサート」
- 12月5日(日) 吉村昭読書会「死顔」、講師:平原一良
- 12月12日(日) 吉村昭読書会「海も暮れきる」、講師:五十嵐秀彦
わくわくこどもランド(手作り教室「ツリーをつくろう!」)
- 12月17日(金) ウィークエンド・カレッジ(児童文学創作教室、講師:升井純子)
- 12月18日(土) 文芸講演会「吉村昭との交流」、講師:川西政明
- 12月19日(日) 吉村昭原作映画上映会「密会」(1959年)
- 12月21日(火) 文学館出前講座(清水町、講師:館野直光)
- 12月23日(木) わくわくこどもランド(クリスマススペシャル「大型絵本読み聞かせ他」)
- 12月26日(日) 吉村昭読書会「赤い人」、講師:当館学芸員
- 1月8日(土) ウィークエンド・カレッジ(折口信夫・釈迦空 ― 学問と作品を読む、講師:月岡道晴)
ウィークエンド・カレッジ(イタリア文学講座『マタイ伝を読む』、講師:工藤知子)
- 1月9日(日) わくわくこどもランド(手作り教室「カルタをつくろう!」)
- 1月14日(金) 連続朗読会「吉村昭の北海道」、朗読:田村英一、ギター:廣田幸政
- 1月15日(土) わくわくこどもランド(絵本読み聞かせ、紙芝居他)
- 1月16日(日) 吉村昭原作映画上映会「魚影の群れ」(1983年)
- 1月18日(火) 文化団体協働事業「平成22年度道民芸術祭」(～1月30日)
- 1月21日(金) ウィークエンド・カレッジ(児童文学創作教室、講師:升井純子)
- 1月29日(土) 吉村昭読書会「戦艦武蔵」、講師:当館学芸員
- 2月5日(土) ウィークエンド・カレッジ(折口信夫・釈迦空 ― 学問と作品を読む、講師:月岡道晴)
ウィークエンド・カレッジ(イタリア文学講座『マタイ伝を読む』、講師:工藤知子)
- 2月13日(日) 公演「バイリンガル朗読とハープ:愛の詩」
- 2月18日(金) ウィークエンド・カレッジ(児童文学創作教室、講師:柴村紀代)
- 2月19日(土) 常設展プレミアム「《川柳王国》北海道の軌跡」オープン(～3月27日)
わくわくこどもランド(ひなまつりスペシャル「絵本読み聞かせ、紙芝居他」)
ウィークエンド・カレッジ(折口信夫・釈迦空 ― 学問と作品を読む、講師:月岡道晴)
- 2月20日(日) 映画鑑賞会「真剣勝負」(原作・吉川英治、1971年)
- 2月27日(日) 文芸セミナー「《川柳王国》北海道の軌跡」、講師:塩見一釜
- 3月3日(木) 北海道美術館学芸員研究協議会
- 3月5日(土) ウィークエンド・カレッジ(折口信夫・釈迦空 ― 学問と作品を読む、講師:月岡道晴)
ウィークエンド・カレッジ(イタリア文学講座『マタイ伝を読む』、講師:工藤知子)
- 3月9日(水) 北海道教育関係公益法人協会総会
- 3月12日(土) 公演「猪居謙ギターリサイタル」
- 3月13日(日) 公演「こころのコンサート」
- 3月15日(火) 運営検討委員会(財団)
- 3月18日(金) ウィークエンド・カレッジ(児童文学創作教室、講師:加藤多一)
- 3月19日(土) ウィークエンド・カレッジ(イタリア文学講座『マタイ伝を読む』、講師:工藤知子)
- 3月25日(金) 理事会・評議員会

III 財団法人北海道文学館役員等名簿

(平成 23 年 3 月 31 日現在)

| | | | | | | | |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| 顧問 | 池澤 夏樹 | 加藤 幸子 | 木原 直彦 | 木村 敏男 | 山口 昌男 | 山名 康郎 | <6名> |
| 参与 | 朝倉 賢 | 加藤 多一 | 木村真佐幸 | 小杉 捷七 | 鈴木 光彦 | 高島 二郎 | <18名> |
| | 谷口亜岐夫 | 永井 浩 | 永田 富智 | 新妻 博 | 原子 修 | 樋口 游魚 | |
| | 比良 信治 | 村井 宏 | 村田 俊秋 | 八子 政信 | 吉田 秋陽 | 米坂ヒデノリ | |

役職員

| | | | | | | | |
|---------------|-------|--------------|-------|---------------|-------|---------------|-------|
| 理事長 1 | 神谷 忠孝 | 評議員 1 | 東 延江 | 評議員 25 | 杉野 一博 | 評議員 49 | 松嶋 東洋 |
| 副理事長 2 | 小檜山 博 | // 2 | 阿知良光治 | // 26 | 鈴木八駿郎 | // 50 | 光城 健悦 |
| // 3 | 辻脇 系一 | // 3 | 新井 章夫 | // 27 | 高橋 明雄 | // 51 | 山下 和章 |
| // 4 | 清原登志夫 | // 4 | 飯塚 優子 | // 28 | 高橋 秀明 | // 52 | 山本 丞 |
| 専務理事 5 | 平原 一良 | // 5 | 石塚 純一 | // 29 | 滝谷 泰星 | // 53 | 吉田 真弓 |
| 常務理事 6 | 川崎 信雄 | // 6 | 植松美由紀 | // 30 | 田口 耕平 | // 54 | 若宮 明彦 |
| 理事 7 | 内田 弘 | // 7 | 小笠原治嘉 | // 31 | 田中 綾 | // 55 | 鷺谷 峰雄 |
| // 8 | 岡崎 守 | // 8 | 押野 武志 | // 32 | 田中 和夫 | // 56 | 和田 由美 |
| // 9 | 片山 晴夫 | // 9 | 小野規矩夫 | // 33 | 田中 厚一 | | |
| // 10 | 工藤 正廣 | // 10 | 笠井 嗣夫 | // 34 | 谷口 孝男 | | |
| // 11 | 國松明日香 | // 11 | 菊地 慶一 | // 35 | 千葉 宣一 | | |
| // 12 | 斉藤 征義 | // 12 | 菊地 寛 | // 36 | 知里むつみ | | |
| // 13 | 柴村 紀代 | // 13 | 岸 美千代 | // 37 | 手島圭三郎 | | |
| // 14 | 瀬戸 正昭 | // 14 | 熊谷ユリヤ | // 38 | 寺田 文恵 | | |
| // 15 | 立花 峰夫 | // 15 | 倉島 齊 | // 39 | 藤堂志津子 | | |
| // 16 | 谷 暎子 | // 16 | 小林 真二 | // 40 | 時田 則雄 | | |
| // 17 | 出村 文理 | // 17 | 斎藤 一郎 | // 41 | 富田 正一 | | |
| // 18 | 本田 優子 | // 18 | 桜井 健治 | // 42 | 中澤千磨夫 | | |
| // 19 | 前川公美夫 | // 19 | 佐々木 讓 | // 43 | 中島 洋 | | |
| // 20 | 源 鬼彦 | // 20 | 佐藤庫之介 | // 44 | 中館 寛隆 | | |
| // 21 | 森 一生 | // 21 | 佐藤 将寛 | // 45 | 野坂 政司 | | |
| 監事 1 | 清水 憲之 | // 22 | 佐野 良二 | // 46 | 橋本 征子 | | |
| // 2 | 野坂 幸弘 | // 23 | 澤辺 成徳 | // 47 | 平澤 秀和 | | |
| | | // 24 | 柴橋 伴夫 | // 48 | 平野 温美 | | |

運営検討委員会

<委員 5 名+副理事長 1 名>

| | |
|--------------|--------|
| 副理事長 | 小檜山 博 |
| 理事 1 | 内田 弘 |
| // 2 | 斉藤 征義 |
| // 3 | 谷 暎子 |
| // 4 | 前川 公美夫 |
| 評議員 5 | 平澤 秀和 |

収集資料選定評価専門委員会

(任期：H 22.7.1~H 24.6.30)

<5名>

| | |
|-------------|--------|
| 参与 1 | 谷口 亜岐夫 |
| // 2 | 村田 俊秋 |
| 理事 3 | 工藤 正廣 |
| // 4 | 立花 峰夫 |
| // 5 | 出村 文理 |

企画検討委員会

<委員 13 名+副理事長 1 名>

| | |
|--------------|--------|
| 副理事長 | 辻脇 系一 |
| 理事 1 | 工藤 正廣 |
| // 2 | 柴村 紀代 |
| // 3 | 立花 峰夫 |
| // 4 | 源 鬼彦 |
| // 5 | 阿知良 光治 |
| // 6 | 森 一生 |
| 評議員 7 | 石塚 純一 |
| // 8 | 佐野 良二 |
| // 9 | 谷口 孝男 |
| // 10 | 知里 むつみ |
| // 11 | 松嶋 東洋 |
| // 12 | 若宮 明彦 |
| // 13 | 和田 由美 |

平成22年度年報

HOKKAIDO MUSEUM OF LITERATURE

北海道立文学館

〈指定管理者〉財団法人 北海道文学館

〒064-0931 札幌市中央区中島公園1番4号
TEL(011)511-7655 FAX(011)511-3266